



保証継続報告書

独立行政法人 情報処理推進機構
理事長 藤原 武平

変更TOE

申請受付日（受付番号）	平成19年5月24日（IT継続7023）
認証番号	C0019
申請者	コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社
TOEの名称 / TOEのバージョン	日本：bizhub PRO 1050/1050e 全体制御ソフトウェア 海外：bizhub PRO 1050/1050e control software 画像制御プログラム(画像制御 I1)：50-0000 コントローラ制御プログラム(IP コントローラ P1)：30-0000
適合する保証コンポーネント	EAL3
開発者	コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社

上記の変更TOEについて、以下のとおり保証継続の結果を報告します。

平成19年6月18日

セキュリティセンター 情報セキュリティ認証室
技術管理者 田淵 治樹

評価基準等：「ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程」で定める下記の規格に基づき、
変更TOEに対して保証継続の検証がされた。

Common Criteria for Information Technology Security Evaluation Version 2.1
Common Methodology for Information Technology Security Evaluation Version 1.0
CCIMB Interpretations-0210

認証結果：合格

「日本：bizhub PRO 1050/1050e 全体制御ソフトウェア（画像制御プログラム（画像制御 I1）：50-0000、コントローラ制御プログラム（IP コントローラ P1）：30-0000）、海外：bizhub PRO 1050/1050e control software（Image Control Program(Image Control I1)：50-0000、Controller Control Program(IP Control P1)：30-0000）」（変更TOE）は、独立行政法人 情報処理推進機構が定めるIT製品等のITセキュリティ認証申請手続等に関する規程に従い、定められた規格に基づいて検証した結果、継続TOEとして、保証が継続されることを確認した。

目次

1	全体要約	1
1.1	はじめに	1
1.2	保証継続識別	1
1.2.1	変更TOE識別	1
1.2.2	認証TOE識別	2
1.2.3	認証TOEのST識別	2
1.2.4	認証TOEの認証報告書識別	2
1.3	保証継続の認証	2
1.4	報告概要	3
1.4.1	変更の記述	3
1.4.2	変更された開発者証拠	5
1.4.3	変更TOE添付ドキュメント	5
2	認証機関による保証継続実施及び結果	6
2.1	実施概要	6
2.2	認証実施	6
3	結論	7
3.1	認証結果	7
3.2	注意事項	7
4	用語	8
5	参照	10

1 全体要約

1.1 はじめに

この保証継続報告書は、認証済みのTOE「日本：bizhub PRO 1050 全体制御ソフトウェア（画像制御プログラム（画像制御 I1）：11-0000、コントローラ制御プログラム（IP コントローラ P1）：10-0000）、海外：bizhub PRO 1050 control software（Image Control Program(Image Control I1): 11-0000、Controller Control Program(IP Control P1)：10-0000）」（以下「認証TOE」という。）を変更した「日本：bizhub PRO 1050/1050e 全体制御ソフトウェア（画像制御プログラム（画像制御 I1）：50-0000、コントローラ制御プログラム（IP コントローラ P1）：30-0000）、海外：bizhub PRO 1050/1050e control software（Image Control Program(Image Control I1)：50-0000、Controller Control Program(IP Control P1)：30-0000）」（以下「変更TOE」という。）の保証継続について、認証結果を申請者であるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に報告するものである。

本保証継続報告書の読者は、本書と共に、以下に示す認証報告書、認証TOEのST、及び変更TOEに添付されるマニュアル（詳細は「1.4.3 変更TOE添付ドキュメント」を参照のこと）を併読されたい。前提となる環境条件、対応するセキュリティ対策方針とその実施のためのセキュリティ機能要件、保証要件及びそれらの要約仕様は、認証TOEのSTにおいて詳述されている。また、動作条件及び機能仕様は変更TOEに添付されるドキュメントに詳述されている。

本保証継続報告書は、変更TOEに対して、認証TOEと同じ保証レベルを与える保証継続についての認証結果を示すものであり、個別のIT製品そのものを認証するものではないことに留意されたい。

1.2 保証継続識別

1.2.1 変更TOE識別

本保証継続の対象とする変更TOEは以下である。

名称 / バージョン： 日本：bizhub PRO 1050/1050e 全体制御ソフトウェア
海外：bizhub PRO 1050/1050e control software

画像制御プログラム(画像制御 I1)： 50-0000
コントローラ制御プログラム(IP コントローラ P1)：
30-0000

開発者： コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

1.2.2 認証TOE識別

本保証継続の認証TOEは以下のとおりである。

認証番号： C0019
 名称 / バージョン： 日本：bizhub PRO 1050 全体制御ソフトウェア
 海外：bizhub PRO 1050 control software

 画像制御プログラム(画像制御 I1)： 11-0000
 コントローラ制御プログラム(IP コントローラ P1)：
 10-0000
 開発者： コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社
 保証レベル： EAL3

1.2.3 認証TOEのST識別

本保証継続の認証TOEのSTは以下のとおりである。

名称： Multi functional printer(digital copier) bizhub PRO 1050
 Series セキュリティターゲット
 バージョン： 第10版
 作成日： 2004年12月21日
 作成者： コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

1.2.4 認証TOEの認証報告書識別

本保証継続の認証TOEの認証報告書は以下のとおりである。

TOEの名称： 日本：bizhub PRO 1050 全体制御ソフトウェア
 海外：bizhub PRO 1050 control software

 画像制御プログラム(画像制御 I1)： 11-0000
 コントローラ制御プログラム(IP コントローラ P1)：
 10-0000
 受付番号： IT認証4027
 作成日： 平成17年2月9日
 作成者： 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
 情報セキュリティ認証室

1.3 保証継続の認証

認証機関が運営するITセキュリティ評価・認証プログラムに基づき、公表文書「IT

セキュリティ評価及び認証制度の基本規程」[1]、「ITセキュリティ認証申請手続等に関する規程」[2]に規定された内容に従い、認証機関は、開発者が作成した「影響分析報告書」[4] (以下「IAR」という。)を検証し、変更TOEに対し保証が継続されることを確認した。認証の過程において発見された問題については、認証レビューを作成した。認証機関が指摘した問題点は、すべて解決された。認証機関はIARに基づき本保証継続報告書を作成し、認証作業を終了した。

1.4 報告概要

1.4.1 変更の記述

1) 認証TOEに対する変更

認証TOEに対する変更は、製品の機能追加、及び性能や不具合などに対する改善である。以下の表1-1に主な変更の概要について示す。

表1-1 製品に対する主な変更

<画像制御プログラム>

変更の種類	項目	具体的内容
製造工程作業の改善と効率化	新規仕向地への対応	仕向地に合った、工程出荷モード時の設定初期値を追加。
CE機能変更	オプションシリアル番号入力13桁化	オプション後処理機のPB501の、シリアル番号入力桁数を13桁に拡張する様に修正。
	固定パーツカウンタ追加	固定パーツカウンタ1種追加(くるみ製本機糊タンク稼働時間)
新規機能への対応	PIからの複数枚挿入	<ul style="list-style-type: none"> ・インターシートのPIカバー/PI挿入画面に、複数ページ入力可能なUIを追加。 ・複数枚挿入を制御する機能を追加。
	プリントコントローラへ通知する新規ステータス追加	プリントコントローラに伝達するステータスにJOBトラッキング情報(1部あたりの用紙枚数/出力完了ページ数)/JOB単位プリント実績情報(各トレイ使用紙枚数/ステープル・パンチ回数/分類別稼働時間)を追加。
	リモートスキャン時の読み込みデフォルト設定	<p>リモートスキャンから指定されないパラメータのデフォルト設定を可能とする。濃度/原稿セット方向/原稿綴じ方向/混載についてサービスDIPSWでのデフォルト指定が可能。</p> <p>リモートスキャンはセキュリティ強化モードがONとなっている場合には機能しない。</p>

性能/機能向上	仕切り紙挿入対応紙サイズ混在対応	同一紙サイズの給紙方向SEF/LEFの混在出力を可能とする制御を追加。
	ページ単位の排紙トレイ切替対応	同一のフィニッシャのメイン排紙トレイと、サブ排紙トレイの切替のみ許容する様に、異なるフィニッシャの排紙トレイがプリンタドライバから指示された場合に、同一フィニッシャに強制的に変更する対応を追加。（ページ単位に切り替える制御自体は変更なし。）
	くるみ製本に関する変更	<ul style="list-style-type: none"> ・くるみ製本+PJOBの場合の動作を変更。 ・くるみ製本機から糊詰まりのアラームを受信した場合の動作を変更。 ・くるみ製本機の糊温度調整範囲を変更。
	不定形の中綴じサイズ禁則	幅：182～324mm、長さ：257～460mm以外の不定形は中綴じ/重ね中折り/断裁を禁止とする様に変更。
	スキャナ、送信先/ファイル名の初期化操作	サービスDIPSW切り替えにより読み込み画面よりリセット釦押下にて宛先選択画面に遷移し同時に送信先/ファイル名のクリアを実施する。
	Scan To FTPのアカウントパスワード/Scan To HDDのBOXパスワードに使える文字追加	<p>「英数」のみだったものを「英数+記号」を使用可能とする。</p> <p>（Scan To FTP機能はTOE範囲外の機能であり、スキャンした画像をTOE外部のFTPサーバに転送する機能である。アカウントパスワードは、FTPサーバのパスワードである。</p> <p>Scan To HDD機能はTOE範囲外の機能であり、スキャンした画像をTOE外部のクライアントPCからダウンロードする機能である。BOXパスワードは、スキャン時にユーザーが任意に入力するパスワードである。）</p>
	スキャナ混載原稿時の画像方向見直し	サービスDIPSW切り替えで、原稿セット時画像の向きを合わせ且つ合わせた方向に原稿セット方向をパネルより選択する（両面原稿時は綴じ方向がすべて同じであり且つこの綴じ方向をパネルより選択する）事で取り込み画像の方向を同じとする。
	重ね中折りリミット解除	DIPSW切り替え（OFF：リミット有り / ON：リミット無し）により、重ね中折の枚数リミットを解除する様に変更。

	表面・裏面後端消去設定対応	DIPSW切り替えにより、画像後端の画像消去量を切り替える様に変更。(2/6/8/10mm)
JOB開始後の不具合の改修	JOB開始後の不具合の改修	JOB開始後の各種不具合を修正。
操作/設定に関する不具合の改修	操作/設定に関する不具合の改修	操作/設定に関する各種不具合を修正。

2) 認証TOEの開発環境に対する変更

開発環境に関する変更はなし。

1.4.2 変更された開発者証拠

TOEへの変更は、以前に認証TOEのために提出された開発者証拠の一部への変更を必要とした。変更された開発者証拠は、正確に識別され、改訂版が作成された。

1.4.3 変更TOE添付ドキュメント

変更TOEに添付されるドキュメントを以下に示す。

国内向け

- ・ bizhub PRO 1050/bizhub PRO 1050e インストールマニュアル 56UA97367I 2007.4
- ・ bizhub PRO 1050/1050e ユーザーズガイド コピー編 56UA97374G 2007.4
- ・ bizhub PRO 1050/1050e ユーザーズガイド POD管理者編 56UA97964G 2007.4
- ・ bizhub PRO 1050/1050e ユーザーズガイド セキュリティ編 56UA97944G 2007.4

海外

- ・ bizhub PRO 1050/bizhub PRO 1050 INSTALLATION MANUAL 56UA97367I 2007.4
- ・ bizhub PRO 1050/1050e User's Guide Copier 56UE97374G 2007.4
- ・ bizhub PRO 1050/1050e User's Guide POD Administrator's Reference 56UE97964G 2007.4
- ・ bizhub PRO 1050/1050e User's Guide Security 56UE97945H 2007.4

2 認証機関による保証継続実施及び結果

2.1 実施概要

保証継続は、平成19年5月24日に申請を受け付けし、本保証継続報告書の完成をもって完了した。認証機関は、開発者から保証継続に要するIARの提供を受け、変更TOEに対する影響を調査した。

また、調査の過程で認証機関による問題点の指摘として認証レビューが開発者へ渡された。これらは開発者による検討ののち、IARに反映されている。

2.2 認証実施

認証の過程で開発者より提出されるIARについて以下の検証を実施した。

認証TOEに対する変更について、正しく記述されていること。

変更によって、変更する開発者証拠は妥当であること。

開発者証拠の変更が、変更TOEに対する影響分析の結果について、開発者の判断の根拠が妥当であること。

これらの認証において発見された問題事項を、認証レビューとして作成し、開発者に送付した。

認証機関は、IARにおいて、認証レビューで指摘された問題点が解決されていることを確認した。

3 結論

3.1 認証結果

提出されたIARを検証した結果、認証機関は、認証TOEに対する変更が本変更TOEにおいても認証TOEのEAL3保証要件を満たしており、変更TOEに対する保証への影響がないことを確認した。また、開発者が実施したレグレッションテストの結果より、変更TOEの動作に影響がないことを確認した。

3.2 注意事項

特になし。

4 用語

本保証継続報告書で使用された略語を以下に示す。

CC	Common Criteria for Information Technology Security Evaluation
CEM	Common Methodology for Information Technology Security Evaluation
DIPSW	DIP Switch
EAL	Evaluation Assurance Level
IAR	Impact Analysis Report
LEF	Long Edge Feed
PI	Post Inserter
PJOB	Programming JOB
SEF	Short Edge Feed
ST	Security Target
TOE	Target of Evaluation

本報告書で使用された用語を以下に示す。

DIPSW	機能や動作を切り替えるためのソフトウェア設定の略号 サービスマンによって操作可能となっており、ユーザーは操作する事は出来ない。
IAR	影響分析報告書
PB501	くるみ製本を実施する後処理装置
PJOB	プログラミングジョブの略 束毎に設定を変えて原稿読込みを実施できるモード
Post Inserter	本体の後段に接続された後処理給紙装置
SEF/LEF	用紙の送り方向を示す略号 SEF：短辺送り LEF：長辺送り
継続TOE	認証TOEに対して継続プロセスを経て以前の認証の適用が認め

	られた変更TOEをいう。認証TOEに対して与えられた同じ保証が、継続TOEにも適用される。
固定パーツカウンタ	機械の消耗部品の使用量のカウンタ
認証TOE	評価され認証書が発行されたTOEのバージョンのことをいう。
変更TOE	認証TOEに対して、変更が加えられた異なるバージョンをいう。
リモートスキャン	外部PC側から指示されたモードで読み込み、スキャナ機能でPC側に送信する機能

5 参照

- [1] ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程 平成19年5月 独立行政法人 情報処理推進機構 CCS-01
- [2] ITセキュリティ認証申請手続等に関する規程 平成19年5月 独立行政法人 情報処理推進機構 CCM-02
- [3] ITセキュリティ認証に係る保証継続ガイドライン 平成19年5月 独立行政法人 情報処理推進機構
- [4] Multi functional printer(digital copier) bizhub PRO 1050 series 影響分析報告書 第14版 2007年6月6日 コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社